

『フェンスレス』オンライン版（第六号） ● 特別付録 資料

総目次 『大衆の友』（日本プロレタリア文化聯盟）

『大衆の友』

日本プロレタリア文化聯盟発行

昭和七年二月〜昭和八年五月（全十一冊）



第一巻第一号

昭和七年二月一日発行

（1）^{通巻}

二月創刊号

〔表紙〕（注1）	大月源二	〔表1〕
〔広告〕『働く婦人』創刊号発禁・二月号増頁		〔表2〕
〔広告〕『プロレタリア文学』二月号		〔1〕
〔目次〕		〔2〕3
グラフのページ		

日本プロレタリア写真家同盟・山口敏 撮影編輯

〔扉〕（*版画） 水戸晃 1

〔4〕8

大衆の友の創刊に際し労働者農民諸君にあいさつを送る！

（注2）

日本プロレタリア文化聯盟・大衆の友編輯局 2〜3

飢饉は何故おこるか？ 貴司山治 4〜10

〔無題〕（*コミカ漫画）

東北の飢饉地から 青森県黒石から 秋山良三 11〜13

汽車賃の使ひ途（文学新聞から）

小説 ゴモの遺族 伊藤信二・大月源二（絵） 14〜17

（広告）やさしくて、面白い俺達の新開！ 『文学新聞』『美術新聞』『音楽新聞』

聞 『映画クラブ』『演劇新聞』

時の問題 政変と金の輸出再禁止／満洲の戦争／フアシズムの擡頭

／第六十議会／『学問に国境あり』——蚕業技師の渡露禁止——

／ラヂオと文学（注3） 村井宗吉・中野重治 18〜33

大衆の友の直接読者となれ！ 大衆の友の取次所を作れ！ 34〜35

佐野学氏の横顔 日本共産党の公判を傍聴して 山田清三郎 36〜40

恐慌は深まる 失業者は殖える 山本宏蔵 41〜48

赤いポスト（*投書欄）

朝鮮金正元・鳥取市村生・東京大村五郎

（広告）『小さい同志』三月創刊号 49

よろづ相談 回答者 中山耕太郎・中野重治 50〜51

カケアイバナシデマ『左翼劇場一月興行上演』久保栄 52〜57

あれが見えぬか！（*コミカ漫画）グロツバー（画） 55

（広告）読め！俺達の新開！『第二無新』『無産青年』『労働新聞』『農民新聞』

聞 『文化聯盟「拾銭文庫」の予約に応募せよ！』

良い本の紹介 日本プロレタリア文化聯盟出版所 58〜59

『五ヶ年計画の話』（イーリン著 安田徳太郎訳 铁塔書院発行）

中野重治 60

『レーニン選集』第一巻の一（産業労働調査所、プロ科学研究所共
訳 希望閣発行） 山形敏雄 61

『マルクス主義への道』（ア・シヤボワロフ著、青木俊三訳 共生
閣発行） 岩本呉一 61

レーニン勲章と労働赤旗章の話 金持の地主の国の勲章とどこがち
がふか？ 加賀野一郎 62〜68

世界の動き（1中国ソヴェート第一回大会／2戦ふ！ポーランドの
兄弟／3モスクワの反戦） 横村浩 68〜69

生ける銃架——満洲駐屯軍兵卒に——（*詩） 70〜72

すばらしい大衆の友三月号予告（注4） 73

今日のコトバ（赤字／カンパ／デマ） 74〜75

慈善事業？（*一コマ漫画） 岩松淳（画） 75

各文化団体の所在地 75

労働者・農民・勤労者の友：五月に創刊だ！われらのグラフ 76〜77

特別読物 戦争の話 戸田亮三 78〜84

猫とレーニン（文学新聞から） 84

（広告）叢文閣『マルクス主義労働者教程』 85

日本プロレタリア文化聯盟の結成に際して全国の労働者・農民・イ
ンテリゲンチヤ諸君に檄す

文化聯盟の現状

農民のうた（女給のウタの節） 池端作 93

戦旗社の解体に際し檄す 戦旗終刊号より転載 94〜95、105

戦旗支局の発展的転化 経営を基礎とするプロレタリア文化教育活
動の当面の組織問題（注5） 中田正三 96〜105

〔文化聯盟諸雑誌価格表〕

小説 雨のち晴 安瀬利八郎、岡本唐貴（絵） 106〜117

第四回 プロレタリア大音楽会（注6） 細田民樹 118〜124

（広告）『小さい同志』三月創刊号 大衆の友を丈夫に生々と育てよう 日本プロレタリア文化聯盟大衆の友編輯局 125〜127

『大衆の友』臨時増刊総選挙特輯号が出るぞ！ 文化聯盟活動基金五千円募集に就て 日本プロレタリア文化聯盟中央協議会 127〜129

編輯を終へて 日本プロレタリア文化聯盟中央協議会 編輯局 130

〔奥付〕 130

（広告）『プロット』二月号 131

（広告）『ソヴェートの友』二月号 132

（広告）『美術新聞』／第四回プロ展原色版絵ハガキ／『プロレタリア美術』
／第四回プロ展代表作複製写真（撮影・プロキノ・神田一雄） 133

（広告）『プロレタリア科学』二月号 134

（広告）『カマラード』2月号／ボエウ編『1932年度版 エスペラント日記』
鉄塔書院 135

（広告）『文学新聞』創刊号・第二号・特輯号・第三号 136

（広告）『プロレタリア文化』二月号 137

（広告）『ナツプ』合本（日本プロレタリア文化聯盟出版所） 138

注1 労働者が持つメガホンに「農村の飢饉を救へ」とある。

注2 『戦旗を！』『戦旗を！』の声は、かくて日本のあらゆる工
場・農村の中から高まつて来た。この最良の諸君の友と、
諸君との握手を、極度におそれた資本家地主の政府の手に

注5 「一九三一年十一月、(中略)プロレタリア文化聯盟中央協

議会が結成された」とある。

注6 三月十二日・十三日、築地小劇場、主催日本プロレタリア

音楽家同盟。



第一巻第四号 昭和七年三月一五日発行 (2)

三月号

〔表紙〕

〔広告〕『働く婦人』三月特輯号

〔広告〕『無産者衛生必携』『合本無産者政治教程』叢文閣

〔目次〕

文化聯盟活動基金五千円募集に就て

日本プロレタリア文化聯盟中央協議会

文化聯盟「拾銭文庫」の予約に応募せよ!

日本プロレタリア文化聯盟出版所

(広告) 新築地劇団三月公演『暴風』『アメリカの仲間』汎太平洋文化団体換

よつて、次々に加へられた庄迫の嵐の中を、『戦旗』を守る人達は、闘ひつづけた。／しかるに、その間に諸君の不満・不安の源をつくつてゐる世の中の動きが、益々深刻となり、この源を清めんがために、ブルジョア支配に対して闘つてプロレタリアの陣営の力も益々強くなつて来た。／それと共に、『戦旗』は数万の諸君の友から、数十万の諸君の友に迄、成長しなければならなくなつて来た。即ち『大衆の友』に迄発展しなければならなかつた。／『大衆の友』は、われ／＼に如何に搾取者庄迫者のために苦しめられてゐるかを絶え間なく諸君に報導する、／『大衆の友』を通じて我々は、お互ひを知らせ合ひ、それによつて互ひに力強く握手する。／『大衆の友』は例外なく、労働者、農民、およびその他の勤労者の、よき友、よき話相手、よき教師、および共同の旗じるしとなる。さうならなければならぬ。

／全国の労働者諸君! 貧小農諸君! そしてその外の仕事場、仕事場に働いてゐる諸君!／『大衆の友』の創刊は、われ／＼の力によつて戦ひ取られたものである。『大衆の友』の成長発展もことごとく我々の力にかゝつてゐる。我々の力を強めること、それによつて『大衆の友』を真に大衆の友として健全に発展させること、このことを我々はしっかりと頭にたたきこんで出発しよう!／『大衆の友』発刊万歳!とある。

注3 「政治経済の問題:村井宗吉」、「文化の問題:中野重治」とあるが具体的な執筆範囲は不明。

注4 実際の三月号(第一巻第四号)と異なる目次が示されている。第一巻第二号で予定されていた目次と思われる。

抄週間記念(三月八〜二五日、築地小劇場)

[8]

グラフ二つの世界(社会主義の勝利/利潤の犠牲)

[9] [10]

日本プロレタリア写真家同盟(撮影・出口敏(編輯)・注1)

特別講座ブルジョア地主の独裁——帝国議会 谷村直義

6 12

あつぱれ!返事(*埋め草)

12

生産党と労農大衆党の衝突

13

満洲慰問使(*壁小説)

本庄陸男、新井光子(画)

14 15

時の問題 上海の戦争/中国勤労大衆の反帝闘争/ハルビンも占領

された/満洲独立国建設とは?/満洲のバルチザン/東京市電の

ストライキ/代議士の選挙をするのか

池田一郎、松山文雄(漫画)

16 23

坊主と錠前工(*埋め草)

23

実話小説 三・一五への道

24 30

赤色救援会と労農救援会(注2)

31 34

凶作地の兄弟へ(*詩)

35

ロシア革命挿話{1} 労働者農民が勝つまでにはこんな苦心があつた

36 41

赤いポスト(*投書欄)

36 41

大坂 美鈴あさ雄、岡山文新通信員上木高三、群馬 一愛読者、

ある漁村の同志、川崎赤いメガホン、京都 T・U生

ソヴェートたより

41 43

おれたちのスポーツ 野球

44 47

内閣、犬カヒ、三井、三菱弗カヒ 金輸出再禁止のからくり

48 54

たのしい世の中に住みたいな(*漫画) 吉村進司(文・画)

49 52

良い本の紹介『祖国のない仲間』中会社版 定価一円 本庄陸男

55

壁小説 名勝地帯

黒島伝治、喜入巖(画)

56 57

壁小説 キキン地の猫

平林英子、朝隈達郎(画)

58 59

日本プロレタリア美術学校 生徒募集

日本プロレタリア美術学校

59

戦争用具の話

深谷進

60 66

戦争をどう思ふ? 四月号 原稿募集

66

労働者農民の解放の戦士ソヴェート同盟赤軍の話 資本家地主の軍

67 72

隊とどこがちがふか?

田村英一

67 72

新メデー歌歌詞募集(文化聯盟中央協議会書記局宛)(注3)

73

漫文漫画 煙突人形

畔柳茂登夫(文)、岩松淳(画)

74 75

帝国主義日本のロボット張学良

荒木十郎

76 79

宗教とは何だ(*埋め草)

廣田五郎

79

文化サークルの話

廣田五郎

80 91

おれたちの新聞・雑誌を読め!!

廣田五郎

80 91

秋祭り(*小説)(注4)

真鍋元之、矢部友衛(絵)

91

長篇小説、建築工事場

山内謙吾、永井理一(絵)

92 109

編輯だより

山内謙吾、永井理一(絵)

92 109

[奥付]

山内謙吾、永井理一(絵)

92 109

東北北海道の飢饉に対して再び訴ふ!

山内謙吾、永井理一(絵)

92 109

汎太平洋プロレタリア文化記念週間に際して檄す

山内謙吾、永井理一(絵)

92 109

汎太平洋プロレタリア文化記念週間に際して檄す

山内謙吾、永井理一(絵)

92 109

汎太平洋プロレタリア文化記念週間に際して檄す

山内謙吾、永井理一(絵)

92 109

汎太平洋プロレタリア文化記念週間に際して檄す

山内謙吾、永井理一(絵)

92 109

汎太平洋プロレタリア文化記念週間に際して檄す

山内謙吾、永井理一(絵)

92 109

汎太平洋プロレタリア文化記念週間に際して檄す

山内謙吾、永井理一(絵)

92 109

汎太平洋プロレタリア文化記念週間に際して檄す

山内謙吾、永井理一(絵)

92 109

汎太平洋プロレタリア文化記念週間に際して檄す

山内謙吾、永井理一(絵)

92 109

汎太平洋プロレタリア文化記念週間に際して檄す

山内謙吾、永井理一(絵)

92 109

汎太平洋プロレタリア文化記念週間に際して檄す

山内謙吾、永井理一(絵)

92 109

汎太平洋プロレタリア文化記念週間に際して檄す

山内謙吾、永井理一(絵)

92 109

三月十五日・第二回公判に際して全労働者農民及びインテリゲンチヤ諸君に訴ふ！〔注2〕
新聞紙法違反被告会議〔121〕
大衆の友の直接読者となれ！ 大衆の友の取次所を作れ！
日本プロレタリア文化聯盟出版所

〔122〕123

〔広告〕『文学新聞』

〔広告〕『プロレタリア文化』読め！三月号が出たぞ！

〔表3〕

〔広告〕『ナツブ』合本（日本プロレタリア文化聯盟出版所）

〔表4〕

注1 二つ折り。

注2 住所一覧記載。

注3 審査員……中野重治、小野宮吉、関鑑子、窪川鶴次郎、中條百合子、徳永直、森山啓。

編輯だよりに「投書」とある。

注4

注5 『働く婦人』の夕べ（三月六日）、汎太平洋プロレタリア文化の夕 アメリカの夕（三月一二日）／朝鮮・中国ソヴェ

ートの夕（三月一三日）、記念展覧会（三月五日～二〇日）、割引券付き。

注6 連名……高山洋吉、藤枝丈夫、津島忠行、上野壮夫、黒島信治、渋谷定輔、稲岡進、佐野袈裟美、布施辰治。



第一巻第五号 昭和七年四月一五日発行

四月号

〔表紙〕

〔注1〕

〔広告〕『プロレタリア文化』四月号

〔表1〕

〔広告〕『世界経済叢書（6）世界恐慌と数字に現れた』叢文閣

〔表2〕

〔目次〕

〔1〕

〔2〕3

〔広告〕日本プロレタリア作家同盟編『年刊 日本プロレタリア詩集（一九三二年版）』同編『詩集 赤い銃火』（日本プロレタリア作家同盟出版部）

〔扉〕

〔注2〕

メーデーが近づいた！ 用意はよいか！〔注3〕

〔4〕

時の問題 軍縮の正体／「朝鮮労働者を満蒙へ」の真相／ブルの金

〔5〕

庫番暗殺事件／荒木陸相の訓練

志村英治（文）、松山文雄（絵）

五月号予告〔注4〕

時の問題 文化の問題 読者の問題／鳩山一郎の思想善導論

10 6～10

『プロ科学』読者倍加運動を捲き起せ！
中野重治(文)、松山文雄(絵) 11〜15

プロレタリア科学研究所

戦争で景気はよくなるか？

カツガレタ宣統帝(*漫画)

見た事・聞いた事・ありのまま

動員令が下つた

お上は無慈悲だ

俺達の村で

生命が惜しい

固き握手

送別会(注5)

出征した貧農

(広告)俺たちの新聞・雑誌を読もう！(注6)

中国には二つの政府がある(*地図と解説)

十九路軍の話

(広告)『われらの科学』四月十五日号、五月一日号主要目次(プロレタリア

科学研究所)

読者評論 誰のための戦争か 投稿特集

銃口は俺達に

戦争はこれからだ

上海・満洲戦争について

俺は今度の戦争をこう思ふ

帝国主義者の術策に乗るな

兄弟よ！ 最後迄戦はう！

首切と戦争に反対する

深谷進 16〜24

岡村康(画) 17〜23

高知・青木一郎 25〜26

宮城・山田三吾 27〜28

香川・小西勇 28〜29

久留米・森山周吉 30〜32

林田常雄 32〜33

佐藤利一 33〜34

中村次郎 34〜36

四川正路 37

東京 赤いパイレンチ 45

東京 嵯峨九州男 45〜47

福井県 加佐間外治 47〜48

片山英一 48〜49

伊藤重治 49〜50

川崎F電 Y・K生 50

ロシア革命挿話【2】 赤い葬式 広沢一雄 51〜56

全農の兄弟たちにおくつたメツセーヂ

労働者の道 第1回 日本プロレタリア文化聯盟農民協議会 57

労働者の道 第1回

アー・シヤポワロフ、永井理一(絵) 58〜67

良い本の紹介 国際赤色労働組合煽動宣伝部編、産業労働調査所訳

『国際労働組合学校』 田邊耕一郎 58〜61

俺の読んだ本 『第三戦線』ウイリー・ミュンツエンベルグ

小ばなし 戦争の好きなお方、これはどうだ？/馬鹿者/泰然自若

(*エスベラントより) 波多野敏(訳) 66〜67、98

メーデー参加記をおくれ(注7)

ブル新聞の読み方 佐々木孝丸 68〜70

ダラ幹物語 鈴木文治 貴司山治 71〜75

原稿募集 ファアシスト・社会ファアシストとのバクロ記事をよこせ

ファアシヨつて何だ 磯村平次、岩松淳(漫画) 76〜84

五月号原稿募集 『戦争は労働者農民の生活にどう影響してゐる

か?』 84

俺たちはプロレタリアの肉弾三勇士にならう！ 一労働者 85〜87

一九三二・二・二六 ——白テロに斃た××聯隊の革命的兵士に——(*詩) 88〜89

軍隊はおれたち勤労者大衆にとつていつたい、敵なのか、味方なのか? 横村浩 88〜89

か? 炭田衛之助 90〜98

(広告)メーデー記念プロキノ第五回公開 土地/おいらの春/東北飢饉ニユ

135

ース(プロキノ・ニュース第7報) / 映画物語「伸び行く女性線」(場所、築地小劇場) (注8) 99

獄内健康闘争 私はどう戦ったか? 山田清三郎 100

二人の母 西山徹一 103

長編戯曲 村松城攻め落し 星川周太郎、喜入巖(絵) 104

資本金氣質(*四コマ漫画) 114

工場・農村・職場に「大衆の友」の取次所を作れ! 115

読者の頁 117

渋谷 池田生、北海道 佐藤啓一、速水進二、一読者、T・T、 117

中××美、富山 八××治、静岡 青年労働者、福井県 加佐 121

間外治、長岡 森谷謙、無名氏、北海道 T・S生、藤村秋好

(広告) サヴェート同盟に関する新刊資料『サヴェート同盟事情』第二輯、『サ 122

ヴェート経済及び経済政策』第二輯、『赤い村』(鉄塔書院近刊) (産 122

業労働調査所) 121

編輯だより 122

〔奥付〕 122

東北・北海道地方の飢饉に苦しむ仲間を救はう!! 医療同盟内 日 123

本労農救援会へ 123

(広告) 『プロキノ』四月創刊号 124

(広告) 『プロット』四月号 125

(広告) ソヴェートの友の会「ロシヤ語講習会」、ダニエロフ編『外国人の為 126

のロシヤ語教科書』(ソヴェートの友の会発行) 126

(広告) 『働く婦人』四月号 127

(広告) 読め! 文化聯盟十銭文庫がいよゝ出たぞ! 127

注1 目次にある表紙カットタイトルは「赤軍の兵士」。 127

注2 「メーデー! 俺達の闘争の日が来るぞ! 万国の労働者 128

団結せよ!」とある。 128

注3 ノンブル「4」から開始(実際には6頁目)。 128

注4 「戦争は終わったか?」「戦争は労働者農民の生活にどう影 128

響してゐるか(投稿特輯)」「腕を組んでメーデーへメーデー 128

ーは葬式行列ではない。一九一七年のロシヤのメーデーメ 128

デー参加記(投稿特輯)」「中国には二つの国がある」「絵 128

物語 労働者の道 第二回」「ソヴェート労働者の一日」「ソ 128

ヴェート同盟東方民族の生活」「地下鉄の兄弟が勝つまで」 128

など。「五月号」は発行されなかったためか、予告された記 128

事の一部は今号に掲載されている。 128

注5 25頁には「佐藤利吉」とある。 128

注6 誌名列記。『文学新聞』『美術新聞』『映画クラブ』『音楽新 128

聞』『演劇新聞』『大衆の友』『働く婦人』『プロレタリア文 128

化』『プロレタリア科学』『プロレタリア文学』『われらの科 128

学』『プロレタリア美術』『プロット』『新興教育』『インタ 128

ナショナル』『産業労働時報』。 128

注7 「メ切は四月十五日だ」とある。 128

注8 四月二五日〜三〇日(六日間) 毎日午後七時より、二九日 128

・三〇日は昼夜二回(昼一時、夜七時)、入場料、労働者(三 128

〇銭)、学生(四〇銭)、一般(五〇銭)。 128



第一卷第六号 昭和七年六月一五日発行 (4)

五・六月合併号

- 〔表紙〕 (注1) 吉原義彦
- 〔広告〕 『ウリゴ早』 (ウリトシム) 六月創刊準備号
- 〔広告〕 『新ロシア』 創刊七月号 (日ソ文化協会) (ソヴェートの友の会) 機関誌
- 〔目次〕
- 〔広告〕 『第二次五ヶ年計画』 叢文閣
- 〔扉〕 断末魔にあへぐ資本主義 (*漫画) モール (画) [5]
- おれたちのうた 五月一日の朝 / 赤軍の歌 鐘が鳴れば 波立一 (作詞)・原太郎 (作曲) 2~3
- 工場農村を基礎に労働者農民の文化戦線は統一された 大きな発展を前に恐ろしくなった資本家地主 文化聯盟に大暴庄を下す 組織の拡大・読者増加・俺達はへこたれぬ 高木俊吉 4~9
- 全日本の兄弟に 一労働者 9
- 六月十九日 (日曜日) 午前十時 於築地小劇場 日本プロレタリア

文化聯盟拡大中央協議会が開かれる 傍聴に行きませう 入場無料 9

おれたちの同志を救援しませう (注2) 編輯局 10~12

暴庄反対 読者の抗議欄 茨城・吉村生 13~14

俺達の文化聯盟を守らう 下の方でガツチリと 一労働者 14

読者をふやせ 大阪・一労働者 14~15

暴庄に抗せ! 静岡県・青年労働者 15

資本家の意見 (*漫画) 岡村康 13~15

時の問題 軍部ファシストの陰謀 / 社民党の分裂 労大党も動揺 / 「反トーカー」の映画争議 / 上海停戦会議 今村信二、松山文雄 (絵) 16~22

左翼劇場六月公演 キルシヨン作「パン」 9景 千田是也演出 / プロキノ特別上映「今年のメーデー」 (注3) 22

ソヴェート中国の新女性 (注4) 23

反ソヴェートデマの正体 片沼正一 24~33

戦地から帰つて来た兵士の話 森山周吉 34~38

捕虜のストライキ —— 世界大戦に参加したドイツ労働者の思ひ出 話 —— (*エスベラントより) R・ワイネル、波多野敏 (訳) 38~41

軍隊の先頭に立つ中国の婦人 賃金はペラペラの券 —— 北海道の救済事業 —— プロキノ派遣員 林茂雄 42~44

市当局の失業救済…… (*エスベラントより) 波多野敏 (訳) 44

救済米のアタマをはねる 作同青森支準調査部 平澤鉄夫 45~46

短歌 泉川暁一郎 46

〔広告〕『産業労働時報』六月号、希望閣

〔広告〕『日本資本主義発達史講座』岩波書店 〔注6〕

国際労働デー 六月十二日

日本に始めての失業者の家 〔注7〕

失業者の家設立趣意書 〔注8〕

日本労働救済会準備会本部・日本労働救済会東京地方協議会

洗礼は受けたが——（*埋め草）

建設）

世界最大の水力発電所ドニエプロストロイの完成近づく（*グラフ、

『ソヴェートの友』より）

巨人ドニエープルの技術の主人 〔注9〕

フョードル・グラトコフ、泉直哉（訳）

ダイマイ三百万円

人生案内（*写真） 〔注10〕

誌上映画 人生案内 〔注11〕

俺達の事務所が移転した 〔注12〕

少年車掌の手記 正しき道 〔注13〕

長篇戯曲 村松城攻め落とし

小説 朝

よろづ相談

宗教は阿片なり 朝鮮京城P・S工場 一人の働き者出

これがロシアだ

救援グループをサークルへ

サークルと労働者クラブ

〔47〕

〔i〕〔ii〕

49 48 49

50 51

51 57

52 57

57 57

58 61

62 67

67 69

70 73

73 73

74 75

75 91

92 95

96 97

97 99

100 101

101 100

101 100

Y君の立場

読者の頁

まぐる取の仕事

三月十五日の茶話会

後からつけた定価

失業者から

編輯局より

〔奥付〕

〔広告〕『創作方法に於ける唯物弁証法のための闘争』『年刊 日本プロレタリア創作集 一九三二年版』初版発禁再版発行

ア創作集 一九三二年版』初版発禁再版発行

〔広告〕『プロレタリア文化』五・六月合併号／『号外』

注1 表紙に「本誌表紙・印刷中・官憲乱入・一枚残らず不当押収す。／このブザマな表紙で五・六月合併号を諸君に送る

に至つた事情は、六月四日夕刻表紙印刷所を官憲に襲はれ

全部押収の暴挙にあつたためだ。／全読者諸君！ 共に起

つて不当押収絶対反対の闘争で逆襲しよう！」とある。

注2 中條百合子、寺島一夫、小川信一、壺井繁治、村山知義、

蔵原惟人、中野重治、窪川鶴次郎、平田良衛の紹介。

注3 六月一日〜十九日まで、築地小劇場。

注4 「ソヴェート」を訂正。

注5 乱下、ノンブル無し。

注6 「国技」とあるが目次によつて修正。

注7 吾婦託児所の写真あり。

注8 「君業者」を「失業者」に訂正。

注9 「ソヴィエツト・ユニオン・リヴュー」誌、第九卷第十二号

101 102 57

103 104 105

104 105 106

105 106 106

106 106 106

106 106 106

106 106 106

106 106 106

106 106 106

106 106 106

106 106 106

106 106 106

106 106 106

106 106 106

106 106 106

106 106 106

106 106 106

106 106 106

106 106 106

106 106 106

106 106 106

106 106 106

106 106 106

106 106 106

(一九三一年十二月)。

注10 モスクワ・メヂラプボム社映画、ニコライ・エツク監督。

注11 ソヴェート映画 メジユラムボム社、ロート・フロント音画工場。

注12 東京市牛込区市ヶ谷田町二ノ二。

注13 「六九頁へ続く」とあるが、69頁には見当たらない。73頁に「33頁より続く」とあるが33頁からは繋がっていない。

〔第一巻第七・八号〕 昭和七年八月一日発行 (5)

七・八月号(八・一デー特集号)

〔表紙〕

(広告) 『働く婦人』八月号

吉村進司

〔表1〕

(広告) 『マルクス・レーニン主義芸術学研究』『建設期のソヴェート文学』叢文閣

〔表2〕

文閣

〔目次〕

(広告) 『国際プロレタリア文学運動の現段階と諸問題』(日本プロレタリア作家同盟出版部) 予約募集

家同盟出版部

〔扉〕(写真) 最大の成果を挙げて赤旗た得たクヰネツストロイの石村労働者突撃隊 (注1)

一九三二年度に於る国際反戦闘争の意義 (注2)

篠崎靖次

金さんの戦死 (*漫画)

吉田貫三郎 (画)

(広告) 唯一の朝鮮語啓蒙雑誌『ウリトナム』

村井吉宗

17

オラガ大将の覚え書

聳え立つ第二次五ヶ年計画

居留民保護の正体 (*埋め草)

レーニンと支那兵 (赤軍通信) (注3)

我々の前衛は死刑に脅かされてゐる

「救援ハウス」の支持グループを作らう

支持グループ代表の懇談会開かる!

前衛を返せと八百の大衆デモる (注4)

季節の話 うら盆の話 (注5)

犠牲者を救援しよう 弾圧に怯まずコップの拡大強化へ

獄中通信 (注6)

(広告) 『産業労働通信』八月一日創刊号 (産業労働調査所)

労働文化聯盟の正体 (労働者農民に毒をすゝめる裏切者)

労働文化聯盟又分裂す

狼共はソヴェート同盟に銃口を向けてゐる

とんだ広告 (*埋め草)

スン・フウ・チン爺さんは泣いた (赤軍通信) (注7)

(広告) 『プロット』七月号 (八・一準備闘争号)

特別読物 欧州大戦とレーニン

原田重吉後日談 (*埋め草)

国民党は奪ひ赤衛軍は与へる (*埋め草)

オリンピックとは何か

(広告) 読め! (*コップ関係機関誌) (注8)

大阪に労働者ア式蹴球聯盟生る (注9)

高島英次

広瀬五郎

太田信一

徳永直

野口正一

島村洋三

松元實

吉川弘雄

徳永直

野口正一

島村洋三

松元實

吉川弘雄

徳永直

野口正一

島村洋三

松元實

吉川弘雄

徳永直

野口正一

島村洋三

松元實

吉川弘雄

徳永直

野口正一

島村洋三

松元實

吉川弘雄

徳永直

通信員（塚） 中江芳秋

消費組合新聞主催の野球大会開かる

52

大阪プロレタリアスポーツ聯盟 新星団歌

53

小説 プロック屋 那珂孝平

54～57

『大衆の友』通信員に参加せよ（注10）

58～59

編輯部だより

〔60〕

〔奥付〕

〔60〕

コツプ維持会員募集について概す

日本プロレタリア文化聯盟財政部

〔表3〕

（広告）『プロレタリア文化』八月号

〔表4〕

注1 「赤旗を得た」の誤植か。

注2 ノンブル表示ここから。

注3 （一）内は目次による。

注4 七月一九日の公判バクロ演説会。

注5 「戦闘的無神論者同盟に入らう」との呼びかけ。

注6 「山田兄」宛。

注7 （一）内は目次による。

注8 誌名列記。『プロレタリア文学』『プロット』『プロキノ』『プロレタリア美術』『戦闘的無神論者』『カマラード』『新興教育』『プロレタリア科学』『文学新聞』『演劇新聞』『美術新聞』『映画クラブ』『音楽新聞』『われらの世界』『教育新聞』『われらの科学』。

注9 大阪プロレタリア・スポーツ同盟。

注10 課題「青年はファツシヨをどう思ふか」、59頁は「通信用紙」。

第一巻第九号 昭和七年九月五日発行（6）

九月号

〔表紙〕

吉原義彦

（広告）『ソヴェート同盟計画経済』叢文閣

〔表1〕

すべての読者はコツプ維持員となれ！

日本プロレタリア文化聯盟財政部

〔1〕

〔目次〕

〔2〕〔3〕

国際無産青年デーに際して

4～7

時の問題

一、壊れかけたドイツ 二、社民、大衆両党の合同

鈴木兵一

8～11

三、オリンピックとスバルタキアード 四、毎日の新聞をくり乍ら

廣瀬五郎

11～17

スポーツ通信を送れ

久米三吉

17～19

「爆弾三勇士」の真相

石山太助（事実を骨子とした物語） 藤森成吉、飯野農夫也（画）

20～25

特別読物 臨時議会と農民

裁判の日に——少年の日記から——

牛村清市

26～35

死刑と千余年の重罰に反対だ！（*スローガン）

大村彦七

36～37

白テロを蹴つて

志水重一

38～39

（世のブルジョア共よ）（*編集局宛通信）

兵×光行

40～41

獄中の同志と家族に差入れと通信を！（*スローガン）

41

出征風景（写真物がたり）

平澤鉄男 42〜43

われらの通信 工場農村兵営カラ

暴動鎮圧の演習

第X聯隊 木谷六三郎 44〜45

選挙のり面をあばく

埼玉 斎藤總爾 45〜46

網張り第一のダラ!

福岡 江川生 47

(広告) 来号予告 読者と編輯部の共同編輯「フアシズムと勤労青年」

動揺する弗の国——(プロ・エス通信から)—— 48〜50

直接読者になつて「大衆の友」を守れ! 出版部 50

何故ソヴエート同盟に戦争をしかけるか(*漫画)

オットオ・ソグロフ(画) 51

第十九路軍は語る(注!) 井上保(訳) 52〜55

次号予告(十月号) 江口換 55

震災当時を語る(*座談会) 山田清三郎 56〜60

秋田雨雀

佐々木孝丸

中條百合子

丸山義二

小説 其の日の長屋 松田解子、寺島貞志(画) 61〜65

小説 黄色十字弾 堀田昇一、寺島貞志(画) 66〜75

特別募集! 帝国主義戦争の進行を曝露した「おれたちの通信」!(*通信員規定)

編輯後記 [76]

(奥付) [77]

(広告) 『ローザ・ルクセンブルグの手紙 カール及びルイゼ・カウツキーへ』

の』(ルイゼ・カウツキー編、松井圭子訳) 岩波書店 [78]

「大衆の友」通信用紙

[79] 80

(広告) 『産業労働通信』八月一日創刊

(広告) 『プロレタリア文化』九月号

[表3] [表4]

注1 「註——これはアメリカの「大衆の友」とも云ふべき「ニュー

・マツセス」に載せられた中国通信で筆者は不明だが多分婦人通信員アグネス・スメツドリであらうと思はれます。」とある。

「第一巻第一号」昭和七年二月三〇日発行 (7)

一一月号

[表紙]

岩松淳

[表1]

(広告) 『マルクス主義者労働教程』叢文閣

[表2]

(広告) 『マルクス主義経済学』第一巻、叢文閣

[1] [2] 3

[目次]

ロシア革命十五週年 コツプ結成一週年を迎へるに際して(*巻頭言)

1 4

時の問題

デマを粉碎せよ——ギヤング事件に関して——

牛村清市

5 10

強制調停——我々は誰を支持すべきであるか——

市村重松

10 15

支配階級の計画的判決

市村重松

15 18

冬が来た！俺達の手で犠牲者の救援を	大衆の友編輯局	18
ドン・バス炭坑区の「労働宮」——ソヴェート同盟の労働者はどんな文化設備をもつてゐるか——	中條百合子	19～26
ドイツ労働者スポーツ	藤森成吉	27～31
大衆経済 物価騰貴と俺たち	牛村清市	32～38
反ソヴェート帝国主義戦争の進行	バクロした「俺達の通信」	
警察の軍隊化	群馬県通信員 中島太郎	39～40
サヴェートのデマと貧農	長野通信員 瀬川伸一	40～41
ダラ幹の反ソデマ	東京通信員 橋本幸吉	41～42
北京から	邱實哉	42～43
俺の土地でも戦争準備が盛んだ	頼徳森貝	43～44
或る文化サークルでの「非常時読本」座談会	渡邊朝	51～52、50
ボルシエヴィク同志スターリン	（注2）	53～54
アムステルダムに国際反戦会議開かる		55
俺達の代表をソヴェートに送らう！！		55～56
伝へて呉れ——モルブ代表に寄する言葉——（*詩）	多木要作	55～56
われらの通信 工場農村兵営カラ		
日本の警察は白系露人と気脈を通じて居る	長谷川和雄	57～59
サガレンオハ油田を見学して	廣瀬一郎	59～61
北海道水害地の突撃隊より	榎本剣次郎	61～62
社民労大合同大会傍聴記	沼津通信員 秋月冴美	62～63
新たな通信員諸君		63
世界の動き		64
渡政の屍の上に（*詩）	大村彦七	65～66
小説ある下士の話	徳永直、岩松淳（画）	67～74

「ウリトシム」十一月号が出たぞ？ 74

銃後の便り 74

帝展出品の闘争 大平章 75～77

獄中通信（注2） 75～77

良い本の紹介『労働者農民の国家とブルジョア地主の国家』——コ

ツブ「拾銭文庫」第一輯を読む 戸台俊一 79～81、44

読者通信 82～85

編輯を終へて [86]

〔奥付〕 [86]

〔広告〕『プロレタリア文化』ロシア革命十五週年・コツブ結成一週年記念特

輯号 [表3]

〔広告〕日本プロレタリア文化聯盟出版所「十銭文庫」ソヴェート同盟と日本

の国家体制の比較、ソヴェート同盟と日本の労働者農民の生活〔表4〕

注1 末尾に「星燦一誌」とある。

注2 末尾に「戦旗社版スターリンより」とある。

注3 「山田兄」宛9月29日付。



第二卷第一号 昭和八年一月三〇日発行 (8)

一月号

〔表紙〕	東健二	〔表1〕
〔広告〕『働く婦人』一月号		〔表2〕
〔広告〕『産業労働通信』		〔1〕
〔目次〕		〔2〕〔3〕
〔広告〕『蔵原惟人論文集』第一輯、第二輯		〔4〕
〔扉〕	東健二(画)	5
レーニン之道 —— かくもレーニンは資本家階級とその支持者の偽		
瞞を踏みしだき、我々に道を拓いた —— (注)		6
リーブクネヒトの生涯 —— 三エル週間のために ——		7
	川西得也	8
		13

時の問題

国際聯盟の正体をよく現してゐるリットン報告書／ドイツ共産党の勝利
時枝詮二 14 17
一向静かにならぬ満州国を廻りて／銃剣を携へた教化総動員／強

盗、瀆職、そして機関銃据つけ
「時の問題」を読者の手で
十二月四日
北島大治 17
編輯部 23

デスマスクに添へて(*詩) (注2)
十二月四日労働葬へ
松田解子 24
李貞岳 26
勞農葬の当日 26
追悼の唄——同志×××の亡骸に——(*詩) 29

小説 千人針
榎本劍次郎 30
無名戦士の話 特別募集 33

特別講座 農民はどしたら助かるか?
死刑重罰反対の唄 —— 一貧農の歌へる —— 鈴木兵一 34
「インタアナシヨナル」の作曲家死す (注3) 佐渡伍一 40

シビリヤコフ号の北氷洋探險
『コムンモルスカヤブラウダ』紙特派員レオニード・ムハーノフ 41
〔広告〕左翼劇場新春公演『機関庫』六幕 (注4) 42

工場農村兵営カラ
刑務所の強制労働 東京通信員 大木亮 47
「山くれ会」闘争にダラ幹逃げ出す 北海道 寄本源吉 49

川底から溺死体 新潟 大瀧作次郎 49
ひどい道路工事 富山 八木健二 50

こどものはなし へいちちゃんたちの街頭デー 50
すべての読者はコツプ維持員となれ! (注5) たけだ・しげる 51

中国通信 (二千余の農民県城を占領／中国ソヴエート区域の青年) 54
紅軍遊撃隊の闘争／山東省日照の新ソヴエート区) 60

読め！（＊機関誌名列挙）

読め！ 配宣リーフレット No.1

素晴しかった「朝鮮の夕」——朝鮮兄弟と手を握れ——

白テロに抗して 獄中の同志に・寒い冬を凌ぐ・差入れものを・家族の救援を！ (注6) 朴石丁 61〜64

(広告) 朝鮮語啓蒙雑誌ウリトナム二月号定価五銭 64

プロレタリア挿話 同志蔵原に感化された看守 読者の頁 65〜67、64

北京 邱實哉、広島 森×健×、静岡 松××雄、富山 八木健

二、朝鮮 李生、山梨 高矢信茂、山口 平宮勇、長野 山名享

次、大阪 平野黎人、兵庫 坂田生 67

プロ文化・大衆の友 再版三百円基金応募者 (注7) 橋本幸吉 68〜75、46

小説 単価 田島ユキ、新井光子(画) 76〜80

小説 愛国信濃号 借家人闘争 81

二月号特別通信募集／通信員規定 「大衆の友」通信員係 82

「大衆の友」通信用紙 大衆の友二月号予告 83

編輯後記 (奥付) 84

国際婦人デーを期してソヴェートへ労働婦人代表を送れ！ 84

ソヴェートの友の会 85〜86

日本戦無機関紙活版復活基金募集 日本戦闘的無神論者同盟 [表3]

(広告) 小林多喜二著『沼尻村』日本プロレタリア作家同盟出版部 [表4]

注1 レーニンの演説から。

注2 岩田義道追悼詩。遺骸顔写真。

注3 「ビエール・デヂヤイテ」死去。

注4 一月二七日〜二月一〇日、築地小劇場。

注5 「維ツポコ持員」を訂正。ノンブル無し。次項目「54」から開始。

注6 入獄中の人名一覽。

注7 応募者名一覽。

号外 昭和八年三月一〇日発行 (9)

恨みの日・三月十五日 小林多喜二の労働葬 午後三時築地小劇場に集れ 1

同志小林多喜二労働葬全国葬儀委員会 日本プロレタリア文化

聯盟、日本赤色救援会、ソヴェート友の会、日本消費組合、

労働救援会準備会、日本労働弁護団、全農全国会議

英雄的犠牲者を吾々は正しく弔はふ 労働葬の意義について 1

同志小林多喜二の遺骸(＊写真)

同志小林の略歴 1

同志小林多喜二 (応募) 労働葬の歌 (節は赤旗の歌) 1

白テロに抗議す 大衆の眼を隠れて我等の前衛を奪ふ 同志上田、岩

田等に次ぎ又小林！ 数々の事実を見よ 2

目撃者の談に聞け！ その日監房の小林多喜二 2

経過報告	心臓マヒに非ず	小林の死体解剖を断る	各大学病院の
恐慌			
母は語る	せきさんの覚悟		2
弟は語る			2
常識外れ	親類の人は語る		2
多喜二をかき抱く母せき	(＊写真)		2
報告文学	屍の上に	窪川いね子	3
同志小林多喜二の業績	—— 作品を中心として ——	中條百合子	3
死ぬ覚悟で小説を書いた	—— 同志小林多喜二を憶ふ ——	一労働者	3
二月廿日文化デー／小林賞		日本プロレタリア文化聯盟書記局	3
日和見主義との闘争	小林多喜二論文集	日本プロレタリア文化聯盟出版社	3
同志小林の遺族に激励の手紙を送れ			3
見えも外聞もあるものか。大衆の目に触れぬうちに検束だ！	(＊カ		4
ット)			
生ける日の面影	各団体の同志は語る		
卓越せる指導者	—— 小林多喜二の闘争 ——	山田清三郎	4
プロットと同志	—— 小林多喜二の断想		4
ヤップと同志小林	—— 彼は我々の仕事の中に ——	岩松淳	4
民衆は真の代表者を一人失くした		蔵原惟廓	4
母は決して悲観しない	渡政のおつ母さん語る		4

同志小林の××抗議 各地で闘はる！
決議 4

日本プロレタリア文化聯盟、『大衆の友』編輯局、『働く婦人』編輯局、『ウリトナム』編輯局
抗議 4

作同兵庫地方支部×地区再建委員会×内サークル一同、コ
ツブ取次所北海道×××号

「第二卷第二号」 昭和八年四月一三日発行 (10)

四月号

〔表紙〕	喜入巖	〔表1〕
〔広告〕	『小林多喜二全集』全七巻、日本プロレタリア文化聯盟出版社	〔表2〕
〔広告〕	日本戦闘的無神論者同盟『われらの世界』他	〔1〕
〔目次〕		〔2〕〔3〕
〔広告〕	日本プロレタリア作家同盟出版部『沼尻村』	〔4〕
〔扉〕	4月号ドイツ反ファシスト隊(＊写真)／本号発行に際し(注1)	5
小林芳農葬からメーデーへ！	みんなで腕を組んで敵をケ倒さう	6
近く上海に開催される極東反戦会議を目指して	こぞつてバルビユ	8
スその他の代表を歓迎しよう		8
文化聯盟の旗を進めよう！		12

シヨウと我々

地震、津波、飢餓におそはれた東北、北海道の兄弟を救援せよ

音楽家同盟で歌った同志小林多喜二の歌

詩 ニュース刷りのあと

(東京の姉から田舎の弟へ) ケガした兵隊さん

市町村会選挙だ 勤労大衆はどう戦ふ? (ブル地主やダラ幹の甘言に

乗るな)

獄中から (注2)

監房の労農葬 (*詩)

追悼詩 —— (九州地方の同志が小林の母に送る便り) ——

アメリカの信用恐慌と日本の勤労大衆

二、三月の暦

どつちが強い? ソ同盟軍と日本 (ブル地主) 軍

全読者はコツプ維持会員となれ!

小説 兵士委員会

小説 鉄

五月号特別通信募集

「大衆の友」通信用紙

編輯後記

〔奥付〕

13

藤木勝 14

佐野嶽夫 17

時松詮二、岩松淳 (画) 18

茂木孝 25

むらを、はな 26

大木隆吉 (投) 28

壺井繁治 31

佐野嶽夫 32

堀田貞夫 35

林田規一 36

上庄徹之助 42

36

36

36

36

36

36

36

36

36

36

36

36

36

36

36

36

36

コツプ出版防衛五百円基金募集!

日本プロレタリア文化聯盟出版部 [64] 65

〔広告〕『小林多喜二全集』全七巻、日本プロレタリア文化聯盟出版部

〔広告〕日消聯の労農騰写版

〔広告〕日本プロレタリア文化聯盟出版部『小林多喜二論文集 日和見主義に

対する闘争』

〔広告〕日本プロレタリア文化聯盟出版部『働く婦人』三・四月合併号 小林

多喜二追悼号

注1 一月号、多喜二追悼号を出した後、二月、三月発行できず。

注2 「一九三三・二・一六 松元實宛」。

第三卷第二号 昭和八年五月二十八日発行 (11)

五月号

〔表紙〕 岩松淳 [表1]

〔広告〕『小林多喜二全集』全七巻、日本プロレタリア文化聯盟出版部

〔目次〕 [表2] [1]

〔広告〕『産業労働通信』『産業労働時報』『インタナショナル』

〔扉〕 (写真) 午後の組・昭和通にて (注1)

プロ・フオト撮影 [5]

時の問題 強奪されようとする東支鉄道 ソヴェート同盟攻撃戦争

の下準備すゝむ 俺たちは労働者農民の祖国を守らう！／治安維持
持法手続の改悪／動揺する斎藤内閣 時枝註二 2 3 7

メーデー参加記 上海反戦会議を支持せよ 出版一労働者 8 3 12

メーデー問答 ダラ幹の正体を発く 8 3 12

来たる六月十八日のコツプ拡大中協議会へ 13

階級戦の陣頭に 同志小林多喜二に贈くる（*詩）（注2） 鈴木獄夫 14 3 15

毒ガスの話 反戦会議を支持せよ（注3） T生訳 16 3 19

プロ・フォト再建（注4） 19

コツプ創刊 19

救農工事 丸山義二 20 3 23

集団農場の春 ——ソヴェートでは種蒔きの最中—— 町田雄一 20 3 23

科学新聞 23

新しいヴォルガの唄 ……第二次五ヶ年計画で大発電所建設…… 谷川次郎 24 3 25

ブル技師の陰謀をバクロした新映画 25

こどもの頁 パンと靴 州知事へねちこんだアメリカのピオニール 25 3 28

こどもの頁 フットボール ブル新聞はデマつてゐる 26 3 28

下獄に直面して チョーヂターバン 29

救援活動へ（注5） 布施辰治 30 3 31

真物のマルクス主義が知りたい（注6） 神田 園田生 30 3 31

全農北聯の輝ける闘士 同志西尾の闘争の生涯 ——雨龍蜂須賀農 31

場争議の指導者——（注7） 山村鉄夫 32 3 35

狂犬ナチス（*埋め草） 35

私の五十年 秋田雨雀 36 3 39

あわれな英雄松岡（*埋め草） 39

機密箱破壊事件 北海道 吉松勇吉 40

壁小説 強制貯金 北島セキ 41

小説 革命の旗の下に（二）（注8） フェリクス・コーン 42 3 59、7

訳者の言葉 43

編輯後記 60

〔奥付〕 60

〔広告〕『働く婦人』五月号 〔表3〕

〔広告〕小林多喜二『右翼日和見主義に対する闘争』日本プロレタリア文化聯盟出版部 〔表4〕

注1 「資本家地主の命令通りダラ幹・社会ファシストは分裂メーデーを強行した／記憶せよ奴等の裏切りをダラ幹をケとばしておれたちは戦ひをすゝめよう」とある。

注2 目次では「復讐戦の陣頭に」とある。

注3 目次では「科学のペエジ 毒ガスの話（上海反戦会議を支持せよ）」とある。

注4 「機関誌「プロレタリア写真」も創刊した」とある。

注5 布施辰治に対する救援活動の呼びかけ。

注6 「回答は次号」とある。

注7 筆者肩書き「全農全会北海道聯合会」とある。

注8 ポーランド革命家の手記。つづく。

日本プロレタリア文化聯盟版『大衆の友』について

昭和七（一九三二）年二月一〇日創刊。翌年五月号まで全十一冊を確認（号外一部を含む）。菊判（号外はタブロイド判）。巻号表記が大きく乱れている。整理にあたって仮に番号を付したものは「」でくくった。

- ① 第一巻第一号（二月創刊号）昭和七年二月一〇日発行。
- ② 第一巻第四号（三月号）昭和七年三月一五日発行。
- ③ 第一巻第五号（四月号）昭和七年四月一五日発行。
- ④ 第一巻第六号（五・六月合併号）昭和七年六月一五日発行。
- ⑤ 「第一巻第七・八号」（七・八月号）昭和七年八月一日発行。
- ⑥ 第一巻第九号（九月号）昭和七年九月五日発行。
- ⑦ 「第一巻第一二号」（一一月号）昭和七年十一月三〇日発行。
- ⑧ 第二巻第一号（二月号）昭和八年一月三〇日発行。
- ⑨ 号外（小林多喜二追悼特集）昭和八年三月一〇日発行。
- ⑩ 「第二巻第二号」（四月号）昭和八年一月三〇日発行。
- ⑪ 第三巻第三号（五月号）昭和八年五月二八日発行。

編輯兼印刷発行人、①～⑩山内謙吾。同住所、⑥⑦東京市牛込区市ケ谷田町二ノ二、⑩東京市淀橋区上落合一ノ四六〇、⑪東京市神田区今川小路一（江戸ビル内）。番号のない号は表示無し（以下同じ）。発行所、①～④日本プロレタリア文化聯盟出版所、⑤⑦⑧⑩⑪日本プロレタリア文化聯盟出版部、⑥⑨日本プロレタリア文化聯盟。同住所、①③東京市神田区美土代町四ノ五 小川町ビル三階、④

⑥東京市牛込区市ケ谷田町二ノ二、⑧⑨東京市淀橋区上落合一ノ四六〇。

印刷所、⑥日本プロレタリア文化聯盟印刷部。同住所、⑥東京市牛込区市ケ谷田町二ノ二。

定価、①～④⑥～⑧⑩⑪二五銭、⑤二〇銭、⑨三銭。

北海道教育大学旭川校所蔵本（①②④⑧⑨）、日本近代文学館所蔵本（③⑤⑪）、京都大学人文科学研究所所蔵本（⑥⑦⑩）を參觀した。

調査協力、中井祐希（立命館大学初任研究員）。

（村田裕和）